



笠懸小学校は今年も思いやりも日本一を目指します！

やさしく
たたくしまし
たたくしまし



笠懸小学校

学校だより No.10 2022.6.30

<https://midori-school.ed.jp/kasasho/>

先生方へのインタビュー①(算数編)

笠懸小学校では、2年生以上で教科担当制を実施しています。高学年では、より多くの教科で教科担当制を取り入れ、指導者の専門性を生かした授業を行うとともに、多くの教職員の目で児童を見守り、そのよさを多面的に引き出せるようにしています。

今日は、6年生の算数科を受け持ち、算数の専科教員でもある藤生先生のインタビューをお届けします。算数科は大好きな児童も多いですが、その一方で難しさを感じている児童もいます。ここでは、専科の先生にインタビューし、教科の魅力などをお伝えすることを通して、家庭と学校とが力を合わせて子どもたちの学力を向上させていく機運を高めていく一助となれればと考えています。

Q:算数は好きですか?

A:好きです。計算の仕方や答えが分かるとスッキリして、やってよかったとうれしい気持ちになるからです。

Q:算数の学習を頑張っていると、どんなよいところがありますか。

A:よいところは2つあります。1つ目は、できなかったことができた喜びを感じることができることです。どんな学習でも、分からないところからスタートします。今まで学習したことをつかって、できなかったことができるようになっていく喜びを感じることができます。2つ目は、色々な方法で「はかせ」を見付けることができることです。1つの答えでもやり方はたくさんあります。たくさんの中から友達の考えを聞いて「㊤やく、㊤んたん、㊤いかくに」を見付けると楽しくできるようになります。

Q:今、授業で関わっている笠小の子どもたちをどのように感じていますか。

A:6年生と算数の授業で関わっていますが、6年生はやる気がいっぱいたくさんの方が手を挙げて授業に参加しているので、とても楽しいです。授業は先生1人がやるのではなく、みんなが参加して楽しさを感じることができます。皆さんもぜひ、6年生みたいにたくさん手を挙げて参加してみてください。

Q:笠小の子どもたちへのメッセージ

A:算数で大切なのは、前にならった学習を忘れないことです。そのために、家での家庭学習がとても大切になります。4年生以上は、自主勉強専用ノートをもっていますね。前にならった学習を忘れないためにも、自主勉強でよく復習してください。学習したことをいつでも使える準備をしてくださいね!



よくできてるよ!

命を育む授業が実施されました

6月22日(水)に2名の助産師を招いて、5年生の児童及び保護者対象の「命を育む授業」が実施されました。命は大切・・・とはよく使う言葉ですが、大切な理由を考えたり、命を輝かせるためにすべきことを考えたりする貴重な時間となったと思います。以下に児童と保護者の方の感想(抜粋)を載せます。

「自分は赤ちゃんのときにたくさん泣いていたんだなあ。お母さんは赤ちゃんが生まれるとあんなにうれしいのだな。」と思いました。教室に帰った後、赤ちゃんの生まれたあとの重さを比べて、月ごとに大きくなっていて、0.2mmしかなかった最初の命がどんどん大きくなっていました。

わたしもがんばって赤ちゃんを産みたいと思いました。命のことを学べてよかったなと思いました。・・・【児童】

お腹の中で10ヶ月間考えられないくらい頑張り、大きく急成長を遂げたこと、そして、生まれてきてくれたことは奇跡であることを普段の生活ではなかなか覚えていなかったのが、今こうして元気に大きくなってくれたことがすごいことなんだと、講演を聞きながら涙が出てしまいました。そのことを子供に伝えました。本人は笑っていましたが、今までの成長を思い出すと、毎日の生活の中で私達に幸せと喜びを与えてくれているのだなと、あらためて感じました。生まれてきてくれてありがとうと心から思います。大人になっていくにつれて、辛いことや悩みがあると思うけど、命のかけがえのなさ、大切さ、素晴らしさを忘れず成長してほしいと思います。・・・【保護者の方】



胎児の模型をだっこしてみる

「気づき、考え、実行する」・・・JRC登録式

【JRCの目標】

- ①自分やまわりの人の命と健康を大切にする
- ②すすんで困っている人を助ける
- ③世界の友達と仲良くする



1年生もJRCの仲間入り



JRC委員会のみなさん

6月23日(木)の朝行事はJRC登録式でした。JRC委員会の子どもたちが企画・運営してくれました。

JRCの主旨や活動内容の説明、署名式、バッジの授与などが行われ、1年生も笠小JRCのメンバーになりました。思いやり群馬県一を掲げる笠小の皆さんは、左の目標に照らして、何に気づき、何を考え、どのように行動していけるのでしょうか。学校では、子どもたちに気づきをうながし、考える機会を設け、実行できた喜びを、何気ない毎日の生活から、そして行事から味わえるようにしていきたいと思います。

地域の方々に支えられながら実施した行事(交通安全教室・田植え)

6月23日(木)に5年生の田植えと1,2年生の交通安全教室が行われました。田植えには、岡登堰土地改良区の方々や地域の方、JAの方々にご協力いただきました。交通安全教室には、地域の交通指導員の方や市役所、警察署の方にご協力いただきました。学校の諸行事は、保護者の方はもちろん、地域の方々のお力添えをいただきながら実施されていることを改めて感じました。教職員一同感謝しております。

田植えでは、5年生が植えた稲の管理を地域の方々にお世話になります。田んぼの水の張り具合については、毎日様子を見てくださるそうです。最近は気温が高く、夜も田んぼの水温が下がらないので、稲の成長に悪影響がないか心配だそうです。人と同じように35℃以上の気温は、稲にもよくないとのことでした。交通安全教室では、今年の1,2年生はとてもよくできたと、交通指導員の方からお褒めの言葉をいただきました。



左右の確認 手を挙げて!



まっすぐに植えられた稲

児童を送迎する際の駐車場所についてのお願い

朝や帰りに児童を送迎する際の駐車場については、プレハブ校舎南側の職員駐車場をご利用ください。特に市立笠懸図書館の開館時間(9:30~18:30)には、図書館の駐車場への駐車を避けていただきますようお願いいたします。児童にも同じことを伝えております。ご理解とご協力をお願いいたします。

